

SCHEDULE 令和6年度(4月~6月)

■ 休館日 ★ イベント ● ギャラリー・ツアー ◆ ギャラリー・トーク

4 APR	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	
展示室1	浮世絵 江戸の絵本(〜4/14)														浮世絵 歌川広重一富士三十六景(4/22~5/19)																
展示室2	東洋陶磁 陶の華 三彩(〜4/14)														東洋陶磁 あこがれのうつわー青花・五彩(4/22~6/23)																
展示室3~6	第47回山口伝統工芸展(4/6~4/14)														※1																
展示室7	陶芸 十三代三輪休雪の陶(〜6/23)																														
展示室8	工芸 山口県の伝統工芸II―赤間硯・金工・漆芸―(〜6/23)																														
特選鑑賞室	絵師未詳 「花筏」(4/1~4/30)																														
5 MAY	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金
展示室1	浮世絵 歌川広重一富士三十六景(〜5/19)														浮世絵 武者絵(5/21~6/23)																
展示室2	東洋陶磁 あこがれのうつわー青花・五彩(〜6/23)																														
展示室3~6	特別展 兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション 古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界(〜6/23)																														
展示室7	陶芸 十三代三輪休雪の陶(〜6/23)																														
展示室8	工芸 山口県の伝統工芸II―赤間硯・金工・漆芸―(〜6/23)																														
特選鑑賞室	歌川国芳 「東都富士見三十六景 佃沖晴天の不二」(5/1~5/31)																														
6 JUN	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日	
展示室1	浮世絵 武者絵(〜6/23)																														
展示室2	東洋陶磁 あこがれのうつわー青花・五彩(〜6/23)																														
展示室3~6	特別展 兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション 古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界(〜6/23)																														
展示室7	陶芸 十三代三輪休雪の陶(〜6/23)																														
展示室8	工芸 山口県の伝統工芸II―赤間硯・金工・漆芸―(〜6/23)																														
特選鑑賞室	葛飾北斎 「風流無くてなぐせ 遠眼鏡」(6/1~6/23)																														

※1 特別展 兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション 古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界(4/27~6/23)
※ 令和6年度は茶室でのインスタレーション展示はございません。

★ イベント

記念講演会
 【日時】4月27日[土] 13:30~15:00
 【演題】「江戸から明治へ:赤木清士コレクションに見る陶磁器の近代」
 【講師】村上ふみ氏(兵庫陶芸美術館 学芸員)
 【会場】講座室(座席数84席)

美術館クイズラリー
 【日時】5月1日[水]~5月6日[月・祝]
 【内容】館内をめぐりながら美術館にちなんだクイズに挑戦。参加者に美術館オリジナルグッズをプレゼント。
 ※なくなり次第終了

● ギャラリー・ツアー
 (担当学芸員による展示作品解説)
 「兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション 古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界」
 【日時】会期中の毎週日曜日 11:00~12:00
 【会場】本館2階展示室

◆ ギャラリー・トーク
 (担当学芸員による展示作品解説)
 いずれも11:00~(30分程度)
 ◆ 4月27日[土] 歌川広重一富士三十六景
 ◆ 5月11日[土] あこがれのうつわー青花・五彩
 ◆ 5月25日[土] 武者絵
 ◆ 6月 8日[土] 山口県の伝統工芸II―赤間硯・金工・漆芸―
 ◆ 6月22日[土] 十三代三輪休雪の陶

※ギャラリー・ツアー、ギャラリー・トークへのご参加には観覧券が必要です。
※イベント詳細については美術館ホームページをご覧ください。

臨時の休館やイベントを中止・変更する場合があります。

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】
TEL 0838-24-2400
URL <https://www.hum-web.jp/>



公式HP

交通アクセス

- 【新山口駅から】**
- 直行バス「スーパードライ」(約60分)で 萩・明倫センター下車、徒歩約5分
 - 防長バス(約90分)で 萩バスセンター下車、徒歩約12分
- 【山口宇部空港から】** [萩・石見空港から]
- 萩近鉄タクシー(乗合タクシー) 約70~80分(利用前日までに要予約)
- 【JR山陰本線】**
- JR萩駅からタクシー約7分
 - JR東萩駅から萩循環まあるバス(西回り)約20分
 - JR玉江駅から徒歩約20分
- 【自動車】**
- 「中国自動車道」美祿東JCT経由、「小郡萩道路」絵堂ICから約20分
 - 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い



最新情報は公式SNSで



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401
URL <https://www.hum-web.jp/>

季刊「萩」 令和6年(2024)4月1日 通巻第111号 【発行】山口県立萩美術館・浦上記念館 山口県萩市平安古町586-1

山口県立萩美術館・浦上記念館

H A G I 萩

HAGI URAGAMI MUSEUM MAGAZINE

111

SPRING ISSUE
2024

兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション

古伊万里のモダン

華麗なるうつわの世界



色絵花盆大皿 肥前 有田 江戸時代中期(17世紀末~18世紀中頃)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清士コレクション)

HAGI URAGAMI MUSEUM



うつりかわる古伊万里

1. 釉下彩大阪鉄橋図大皿(部分) 佐賀 有田
明治時代(19世紀後半～末)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清土コレクション)

江戸時代前期(17世紀初頭)、肥前有田(現在の佐賀県西松浦郡有田町)を中心とした地域で、日本最初の磁器が生産された。この肥前磁器は、近郊の伊万里港より船で積み出されたことから「伊万里焼」と呼ばれることとなる。特に江戸時代に作られたものは、いまも幅広く愛好されており、<古伊万里>と呼ばれている。

今回、兵庫陶芸美術館から赤木清土コレクションを借用して、「古伊万里のモダンー華麗なるうつわの世界」展を開催する。なぜ、このコレクションを選んだのか。

私が初めて赤木清土コレクションを目にしたのは、兵庫陶芸美術館で開催していた「受贈記念 赤木清土コレクション 古伊万里に魅せられてー江戸から明治へー」展(会期: 2021年6月12日～8月29日)の広報用チラシを手にとった時であった。その表紙にレイアウトされた「釉下彩大阪鉄橋図大皿」(明治時代・19世紀後半～末) <写真1>の作品が印象的だった。青を基調とした文様に、鮮やかな緑色や柔らかな色のピンクが効果的に彩色されている。江戸時代の伊万里焼とは異なる情緒があった。取り上げている題材も、時代性を映すようなものであった。当時では珍しい鉄橋や、西洋的なデザインのガス灯が描かれていたこともあり、モダンなうつわだと率直に思った。

江戸時代、日本で磁器生産が始まって間もない頃の伊万里焼は、中国磁器を目指してつくられており、彼地の雄大な川が描かれた山水文や、長寿を意味する「鶴」や「松竹梅」などの吉祥文といった中国風の文様がよく描かれていた。また、江戸時代後期には、旧国名が記入された日本地図や、江戸の人々の娯楽であった相撲で活躍した力士など、日本の文化や流行を反映した図柄が多くなる。このように、「釉下彩大阪鉄橋図大皿」は、もしかすると伊万里



2. 色絵花盆文蓋付大壺 肥前 有田
江戸時代中期(18世紀初頭～中頃)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清土コレクション)



3. 色絵花鳥文調味料入揃物(7点組) 肥前 有田
江戸時代中期(18世紀初頭～中頃)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清土コレクション)



4. 染付松竹梅菊捻花文大皿 肥前 有田
江戸時代後期(19世紀初頭～中頃)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清土コレクション)

焼は明治に限らずそれぞれの時代の流行を敏感に反映しているのかもしれないということに気付かせてくれた。伊万里焼の生産がはじまってから400年余りたつが、時代の流行に即応するこのような姿勢が、今なお不動の人気を得ている理由のひとつなのかもしれない。

最も伊万里焼の機動力の高さがうかがえるのは、江戸時代中期の「古伊万里金襴手様式」に見える動きである。伊万里焼の急成長には、中国磁器の歴史的な動きが深く関わっている。中国は明朝(1368～1644年)から清朝(1644～1912年)に王朝が交替する時に、国内が乱れた。それに伴い、磁器生産が停滞し、ヨーロッパをはじめとする諸外国への輸出も滞った。その代わりを果たしたのが、伊万里焼であった。オランダ東インド会社は、景德鎮などの上質な中国陶磁に代わるものとして伊万里焼を求めた。それに応えようと、技術が向上し、意匠が洗練されていった。とくに古伊万里金襴手様式(表紙、写真2、3)は、明時代後期の中国磁器「金襴手」の影響を受けた豪華絢爛なやきもので、濃紺の染付に赤で上絵付けし、さらに金彩を施した独特の色合いのものは日本磁器のひとつの到達点となり、中国磁器の代わりとしてではなく、日本磁器のブランドを決定づけた。日本で磁器生産が始まってから100年も経たないうちに急成長をとげたことは、驚くべきできごとである。

伊万里焼の図柄や形は多様であるが、その背景には、社会の動きや人々の好みが関わっている。人々の欲求、それに応えようとする人々の向上、そうやって伊万里焼はうつりかわってきた。そのようなことを思いながら展覧会を準備している。

すばらしい作品の美しさをお楽しみいただくなかで、少しでもそのような背景にも思いをよせると、新しい魅力を発見することができるかもしれない。

(当館学芸員 市来 真澄)



5. 染付牡丹文徳利 肥前 鍋島藩窯
江戸時代後期(19世紀前半～後半)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清土コレクション)



6. 釉下彩鯉文大皿 佐賀 有田
明治時代(19世紀後半～20世紀初頭)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清土コレクション)



7. 色絵電線図大皿 佐賀 有田(瀬戸口富右衛門)
明治時代(19世紀後半～20世紀初頭)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清土コレクション)

兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清土コレクション

古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界

2024.

4.27^土-6.23^日

会場 山口県立萩美術館・浦上記念館 本館2階展示室
休館日 5月13日(月)・20日(月)・27日(月)、6月10日(月)・17日(月)
開館時間 9:00～17:00(入場は16:30まで)
観覧料 一般 1,200円ほか ※詳細は当館ホームページ等にてご確認ください。
主催 古伊万里のモダン展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、tysテレビ山口)
後援 山口県教育委員会、萩市、萩市教育委員会 特別協力 エフエム山口

展示室1〈浮世絵〉

うたがわひろしげ ふじさんじゅうろっけい
歌川広重—富士三十六景

【会期】4月22日(月) — 5月19日(日)

歌川広重(1797~1858)の絶筆の1つである「富士三十六景」は、富士山を望む各地の風景を縦の画面に描いた36図のシリーズです。戯作者の三亭春馬(二代)が記した目録によると、版元の葛屋吉蔵が、広重の遺稿を、亡くなった翌年の安政6年(1859)に出版したことが分かっています。本シリーズのテーマは、富士山に取材する作品で知られる葛飾北斎(1760~1849)の影響が指摘されますが、诗情あふれる穏やかな画風は、いかにも広重らしい風景画となっています。今回の展示では目録を含むシリーズ全図をご覧いただけます。



歌川広重
「富士三十六景 駿河薩タ之海上」
大判錦絵 安政6年(1859)

展示室1〈浮世絵〉

むしやえ
武者絵

【会期】5月21日(火) — 6月23日(日)

武者絵とは、歴史上の武将や豪傑の武勇伝や合戦図、伝説や文学に登場する架空の英雄などを描いた絵画です。浮世絵では初期から明治時代の終焉期に至るまで描き継がれた人気のレパートリーでした。

特に幕末に活躍した歌川国芳(1797~1861)は、精緻な彫摺の技術をいかした幻想的な作品を次々と発表し、「武者絵の国芳」と称えられました。今回の展示では、歌川国芳をはじめ幕末の作品を中心に、勇壮で躍動感あふれる武者絵を紹介します。



歌川国芳
「通俗水滸伝豪傑百八人之一人 花和尚魯知深初名魯達」
大判錦絵 文政(1828~1829)末期

展示室2〈東洋陶磁〉

あこがれのうつわ—青花・五彩
せい か ご さい

【会期】4月22日(月) — 6月23日(日)

麗しい白磁に清々しい青文様を描いた青花磁器や、白磁に赤、緑、黄などの顔料を用いて文様を表した五彩磁器は、中国陶磁の歴史のなかでひとときわ輝きを放つやきものです。中国を代表する一大窯業地である景德鎮(江西省)の官窯では、高品質の青花・五彩磁器を生み出し、とくに明時代(1368~1644年)には技術が安定し、多くの優品が遺されています。一方、景德鎮民窯でも明時代末期から清時代初めにかけて、ヨーロッパなどへの輸出が盛んになり、魅力あふれる磁器がつけられました。

本展示会では、明時代の景德鎮官窯の洗練された文様で装飾された優美な作品や、景德鎮民窯や漳州窯(福建省)の親しみある文様を施した磁器をはじめ、日本で最初につくられた磁器「伊万里焼」の初期伊万里



青花牡丹唐草文鉢 中国・景德鎮官窯
明時代(宣徳在銘)・1426~1435年
当館蔵 撮影:下瀬信雄



五彩鴛鴦文皿 中国・景德鎮官窯
明時代(萬曆在銘)・1572~1620年
当館蔵 撮影:下瀬信雄

や柿右衛門様式などの作品も展示し、日本人を魅了した中国の青花・五彩磁器とその影響を受けながらも独自の様式を展開した伊万里焼の染付・色絵磁器の魅力について紹介します。

同時開催中の特別展「兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション 古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界」に展示する作品とあわせてお楽しみください。

特選鑑賞室

特選鑑賞室では、館蔵浮世絵の優品を毎月ご紹介しています。(設備改修工事のため今年度は7月以降休止します)

2024
4月



絵師未詳
「花筏」

享保~宝暦期(1716~1763) 横中判紅絵

桜の舞い散る中、振袖姿の侍女が貴人を載せた筏船の舵を取り進んでいます。紅を主体に筆で彩色を行った紅絵。初期浮世絵の素朴さと中世的な画題が調和した典雅な作品です。

5月



歌川国芳
「東都富士見三十六景 個沖晴天の不二」

弘化1年(1844)頃 横大判錦絵

江戸市中から富士山を望む風景画のシリーズ、北斎「富嶽三十六景」に触発された作品。個沖の船から遠望する富士山は、半分を漁師の四ツ手網に透かし見るという奇抜な構図で描かれています。

6月



葛飾北斎
「風流無くてなくせ 遠眼鏡」

享和期(1801~1803)頃 大判錦絵

北斎の希少な美人大首絵。無くて七癖とは誰にも癖があるという意味の諺。外出して遠眼鏡を覗く母娘は物見遊山癖でしょうか。細面の上品な顔立ち、享和期の美人画の典型です。



令和6(2024)年度

山口県立美術館／山口県立萩美術館・浦上記念館 メンバーズクラブ会員募集

山口県立美術館および山口県立萩美術館・浦上記念館の
展覧会等を通じて美術に広く親しんでいただき、地域文化
の向上に寄与することを目的として、2014年4月に「県
立美術館メンバーズクラブ」を設立しました。現在、会員
を募集中です。特典は入会したその日から使えます。皆さま
のご入会をお待ちしております。

年会費

- 一般：3,300円
- 学生(19歳以上の学生)：2,800円
- シニア(70歳以上)：2,400円

※学生・教職員の方はキャンパスメンバーズもご利用いただけます(但し加盟校の方が対象です)。加盟校、内容は2館のホームページでご確認ください。

有効期間

令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

募集期間

令和6年4月1日(月)～令和6年7月31日(水)

主な会員特典

2館の特別展の中から、好きな展覧会を
5回分無料、6回目以降は半額でご覧いただけます。
さらにコレクション展は
何回でも無料でご覧いただけます。

特別展の無料観覧特典を
同伴者おひとりのみ利用できます。
(同伴者のご入場分は無料特典の利用回数に含まれます。)

会員証の提示で全国の提携館の入館料が
割引になります。

【提携館・提携施設】

サントリー美術館(東京・港区)／DIC川村記念美術館(千葉・佐倉)
／植田正治写真美術館(鳥取・伯耆)／足立美術館(島根・安来)／
島根県立美術館(島根・松江)／島根県立古代出雲歴史博物館(島
根・出雲)／島根県立石見美術館(島根県芸術文化センター「グラ
ントワ」)(島根・益田)／尾道市立美術館(広島・尾道)／ひろしま美
術館(広島・中区)、広島県立美術館(広島・中区)／広島市現代美
術館(広島・南区)／愛媛県美術館(愛媛・松山)
※詳しい割引内容はこちらの美術館・博物館でご確認ください。

その他、会員限定イベントや展覧会情報のお届けなど
詳しくはチラシまたはホームページで。

【お問い合わせ】9:00～17:00 ※休館日を除く
山口県立美術館 TEL 083-925-7788
山口県立萩美術館・浦上記念館 TEL 0838-24-2400

令和6(2024)年度

山口県立美術館／山口県立萩美術館・浦上記念館 法人サポーターズ会員募集

法人サポーターズは、山口県立美術館および山口県立萩
美術館・浦上記念館が行う文化芸術活動の充実強化を、地
域の法人および個人事業主のみなさまにサポートしてい
ただくことを目的とした会員制度です。なお、会員特典は
従業員の皆さまの福利厚生や、お世話になっている方へ
のプレゼントとしてもご利用いただけます。

年会費

- プラチナ会員：1口 10万円(税込)
- ゴールド会員：1口 5万円(税込)

有効期間

令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

申込受付期間

令和6年5月31日(金)まで

会員特典

- 1 会員証の提示で、特別展とコレクション展が
2名様まで無料で何度でも観覧できます。
- 2 特別展共通の招待券を贈呈します。
※プラチナ会員は100枚、ゴールド会員は40枚
- 3 特別展の開会式にご招待します。
※プラチナ会員のみ
- 4 美術館情報を定期的にご案内します。
- 5 会員の社名・団体名を
館内や両館のホームページで紹介いたします。

【会員区分と特典一覧】

	プラチナ会員	ゴールド会員
年会費	10万円／1口	5万円／1口
会員証	2枚	1枚
	会員証提示で特別展・コレクション展とも 2名様まで無料 ※回数制限なし	
特別展共通券	県美・萩美 各50枚	県美・萩美 各20枚
開会式ご招待	○	×
ご案内送付	○	○
社名紹介(館内)	○	×
社名紹介(HP)	○	○

【お問い合わせ】9:00～17:00 ※休館日を除く
県立美術館法人サポーターズ事務局 TEL 083-925-7788
(山口県立美術館指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ)

山口県立美術館／山口県立萩美術館・浦上記念館

令和6(2024)年度の特別展ラインナップ

山口県立美術館

特別展

奈良大和路のみほとけ 一令和古寺巡礼一

2024年 4/12(金)～6/9(日)
(休館日)月曜日(ただしは4/29、5/6、6/3は開館)

穏やかな自然に育まれ、悠久の歴史と
物語を秘めた「奈良大和路」。
静かな慈愛に満ちた「みほとけ」が伝え
られるこの地は、今なお私たちを惹き
つけてやみません。本展では法隆寺、
東大寺、薬師寺、唐招提寺、大安寺を
はじめとする古寺の仏像を中心に、絵
画や工芸品、奈良を愛した入江泰吉に
よる写真を紹介し、風土と混然一体と
なった大和路のみほとけの世界へとご
案内します。



国宝
《観音菩薩立像(夢違観音)》(部分)
飛鳥～奈良時代 法隆寺蔵

特別展

没後50年 香月泰男のシベリア・シリーズ

2024年 7/4(木)～8/25(日)
(休館日)月曜日(ただし、7/15、8/5、8/12は開館。)

太平洋戦争への従軍と戦後のシベリ
ア抑留の体験を絵画化した「シベリア
・シリーズ」で知られる洋画、香月泰男
(1911-74年)。
没後50年を記念して、同シリーズ全
57点を一堂に展示し、その軌跡をたど
ります。



香月泰男《青の太陽》1969年
油彩・方解末・木炭／カンヴァス
山口県立美術館

特別展

超絶技巧、未来へ! 明治工芸とそのDNA

2024年 9/12(木)～11/10(日)
(休館日)月曜日(ただし9/16、9/23、10/7、10/14、11/4は開館。)

多くの人びとを魅了した「超絶技巧」
展シリーズの第3弾。金属、木、陶磁、
漆、ガラス、紙などの多様な素材に、
鍛錬を重ねた技法を駆使して向き合い、
新たな領域に挑む17名の現代作家た
ち。本展では彼らの新作を中心に、そ
のルーツでもある明治工芸の逸品もあ
わせてご紹介します。
明治工芸のDNAを継承しつつ、独自
の美意識を貫く作家たちが繰り出す、
驚きの超絶技巧の数々にご注目ください。



【木彫】前原冬樹
《「一刻」スルメに茶碗》(部分)
朴、油彩、墨 2022年

2館共通情報 観覧料
コレクション展 | 一般300円(240円)／学生200円(160円)
※()内は20名以上の団体料金です。 ※有効期間内のメンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員、法人サポーターズ会員は無料。
※70歳以上と18歳以下、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料
特別展ほか | 展覧会によって料金が異なります
会期・開館時間・入館方法等が変更になる場合があります。ご来館の際は事前に各館ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

【開館時間】9:00～17:00(入場は16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日もしくは振替休日の場合は開館し、翌火曜日休館。ただし特別展開催時は火曜日
も開館。特別展開催中のファーストモンデー(第一月曜日)は開館)、年末年始、展示替え期間
【住所】〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1
TEL 083-925-7788 FAX 083-925-7790

山口県立萩美術館・浦上記念館

特別展

兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション 古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界

2024年 4/27(土)～6/23(日)
(休館日)月曜日(ただしは4/29、5/6、6/3は開館)

江戸時代から近代にかけて
時代を経て洗練されていっ
た古伊万里の美の変遷を、
明治以降の伊万里焼まで展
観して紹介します。兵庫陶
芸美術館が所蔵する赤木清
士コレクションから選りすぐ
った約100件の作品でお楽
みください。



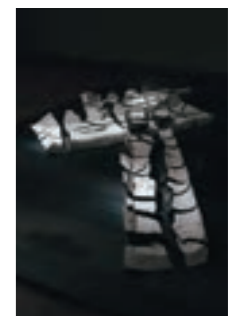
色絵花盆文大皿 肥前 有田
江戸時代中期(17世紀末～18世紀中頃)
兵庫陶芸美術館蔵(赤木清士コレクション)

コレクション展

十三代三輪休雪の陶

2023年 12/12(火)～6/23(日)
(休館日)月曜日(ただしは4/29、5/6、6/3は開館)

土が根源的に秘めているエネルギーを
最大限に引き出した十三代三輪休雪の
作品を展示し、土への覚醒と陶芸に内
在する限りない表現の可能性を提示す
る十三代休雪の陶の世界を紹介します。



十三代三輪休雪
《恒久破壊I》1987年
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵

コレクション展

山口県の伝統工芸Ⅱ―赤間硯・金工・漆芸―

2024年 3/12(火)～6/23(日)
(休館日)月曜日(ただしは4/29、5/6、6/3は開館)

山口県ゆかりの作家による
「赤間硯」に加え、国指定重
要無形文化財「彫金」の保持
者である山本晃の作品や、漆
芸作品を展示し、この地域に
しかない卓越したわざを紹介
します。



堀尾信夫(瓜研)1985年
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵 撮影:山崎信一

【開館時間】9:00～17:00(入場は16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日・休日、第一月曜日、4/22は開館)、祝日・休日で開館した
月曜日の翌平日(4/30、5/7、11/5は開館)、年末年始、展示替え期間
【住所】〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1
TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401